

平成二十年から三十一年末までに通讀

平成三十一年は、五月三十一日までです。

(凡例) 平成二十三年末まで。

著者、『書名』出版年、出版者。(讀了日を示す整理記號)

副題および、内容概要。

その他。

平成二十年

陶智子著『不美人論』平成十四年、株式會社平凡、平凡新書。(20-04-15)

不美人について色んな角度から論じてゐる。不美人は美人の反対概念であるが、否定的概念であるため、不美人論の内容は、自然に美人を論じることと同じになる。この本も美人論になつてゐるのは、仕方がない。

湯淺眞沙子著『歌集 秘帳』平成十二年、株式會社皓星社。(20-08-05)

巻頭に林あまりの文章あり。

永田守弘編『官能の淫髓・極めつき十編』平成十五年、河出書房新社、河出文庫。(20-11-07)

現代作家による官能小説の主な文章を紹介。再讀(19-03-23)

ナンシー・エトコフ著、木村博江譯『なぜ美人ばかりが得をするのか』平成十三年、株式會社草思社。(20-11-23)

いはゆる「美人」とか、「美男」といふ存在は、客觀的にも他人を惹きつける存在であるとして、その原因を、生物學的な種の保存の本能に基つくものと考へて解説してゐる。嬰兒でさへ、綺麗な人には、強い關心を示すといふ。なかなか興味深い美人論。顔寫眞が本人にのみ、不自然に見える事への、脳の人物認識の部位からの解説もある。

堀江珠喜著『團鬼六論』平成十六年、株式會社平凡社、平凡社新書。(20-12-25)

團鬼六文学の魅力を説く。鬼六の育った大阪の言葉、大阪人のサービス精神、和風好み趣味などから、西欧文化のサドマンとは異なる性質のものだとする。代表作の紹介もある。

平成二十一年

井上章一著『日本の女が好きである』平成二十年、パイエイチパイ研究所。(21-06-08)
美人と美女の違い、美人コンテスト、秋田や新潟など美人産地のことなど、美人についての論評。前書きに日本女性の外人との結婚と、日本男子の外人との結婚の比較の話があるが、本文にはその關聯の話は無い。

櫻井亞美著『イノセントワールド』平成九年、株式會社幻冬社。(21-06-21)

よく判らない小説。主人公の女子高生は買春をしながら、智恵遅れの兄と性交を続け、妊娠する。自分は人工授精で生まれ、見知らぬ男が實の父だと判り、精子提供者である實の父を探り出して、その男と性交する。巻末に社會學者と稱する人が解説をしてゐるが、よく判らない。

久保隆之著『銀座のクリニックの窗から』平成二十年、株式會社土屋書店。(21-08-04)

銀座で經營してゐる美容外科醫の仕事に纏はる隨想集。

岡田甫著『川柳末摘花註解』昭和二十六年、第一出版社。(21-09-22)

『川柳末摘花』の解説としては昭和初頭の『末摘花通解』九冊がそれまでの総決算的なものであるとして、それを補ひ、未掲載の句で難解なものを纏めて解説したとのこと。再讀(08-04-17)

林美一著『艶色江戸の瓦版』昭和六十三年、河出書房新社、河出文庫。(21-09-27)

昭和四十一年、有光書房刊行『珍版・稀版・瓦版』の改訂版とのこと。瓦版、經木摺り、『屁生物語』、『首切斷』、吉原細見、『枕文庫』、文指南など珍しい出版物話題。

平成二十二年

永田守弘著『官能小説の奥義』平成十八年、株式會社集英社、集英社新書。(22-01-09)

官能小説の表現法を實例を示しながら解説。濃厚なエロ스에満ちた小説がそのまま官能小説に成りうるのではなく、讀者の「淫心」をひたすら、掻き立てる小説を官能小説といふとする。

藤木ティーディーシー著『アダルトビデオ革命史』平成二十一年、株式會社幻冬舎、幻冬舎新書。(22-04-15)

性を扱ふ成人向けビデオ商品の發足から現在までの製作と販賣の變遷を分かり易く紹介してゐる。撮影機材の改善や新機材の登場により作品の内容が變化すると同時に、猥褻物の取締規制の變遷に伴ひ、製作から販賣のありかた、作品の内容にまで大きな變化が及んでくることを説明してゐる。

著者不明、辻真稀子譯『新オー嬢の物語』昭和六十三年、株式會社マガジンハウス。(22-08-04)

「オー嬢の物語」の續編の一つ。企業買収のために一家を擧げて巴里へやつてきた米國資本家を迎へ撃つ企業家がオー嬢と手を組む。それとは知らずにオー嬢の手の内の豪邸に住み着いた米國資本家家族は、娘、息子、妻、そして當人までもがオー嬢の手に落ちて、セックス戰術に敗北する。

平成二十三年

澁谷中博著『封印された聖なる性の秘密』平成十年、株式會社日本文藝社。(23-04-07)
我が國古來の宗教、思考法の中に存在する性の感覺は人類共通の聖なるものであり、現在でも生活や考へ方の深いところで重要な役割を果たしてゐる。聖と性の二つの概念が深く結びついてゐることを紹介。再讀(291102)

高柳美知子『六十歳からの豊かな性を生きる』平成十二年、有限會社茉莉花社。(23-12-23)

性は人間の文化であり生殖機能とは別に老いても性慾はある。衰へても、老化を防ぐためにも性器を働かせるのが好ましい。性の自由は法の規制とは別次元の問題である。男女が改めて出會ひ直すことが必要。

平成二十四年

(凡例)

整理記號 著者、『書名』

讀了日、曜日

出版年、出版社、叢書名

副題

内容概要

著者

その他

240625' 杉浦由美子著『二十代女性はセックスしてない』

讀了日 平成二十四年六月二十五日

出版 平成二十三年、株式會社角川書店、角川テーマ

副題 彼女たちはなせ男に求められない

内容概要 現在の二十代女性は三十代以上の女性よりも、その場の空気を讀み、常にその場に合はせられる能力があるといふ。セックスに對する貞操観念は無く、容易にセックスをするし、他人前を憚ることなく性を話題にする。しかし、一度限りのセックスでも「戀愛感情」を必要としてゐる。その場の空気に容易に合はせられるといふ、異常な社會性と、自分の考へを變へることができない自意識が障碍となつて、戀愛へ進むことが難しくなつてゐる。

この本では、二十代の女性が三十代以上の女性とは異なるといふことを事實として、大膽な論理を展開してゐるが、このやうなことは、何十年かを経て觀ると、大前提が壞れる可能性が大きい。現在の三十代の女性、四十代の女性が、頻繁にセックスしてゐるかどうかも、確かめてゐない様子である。刺激的なテーマを設定した際に類する。

240627' 中村つとむ著『愛か美貌か』

讀了日 平成二十四年六月二十七日

出版 平成十四年、株式會社文藝春秋

副題 ショッピングの女王四

内容概要 筆者のホストクラブ、馬券、整形美容などの體驗を面白可笑しく紹介。

240630' 林美一著『江戸艶本を讀む』

讀了日 平成二十四年六月二十日

出版 平成六年、株式會社新潮社、新潮文庫。

内容概要 江戸の戯作者の傳記研究から發した江戸時代の猥褻出版物の研究を紹介。

240724' パム・スパー著、深井裕美子譯『もっと素敵な愛し方』

讀了日 平成二十四年七月二十四日

〔平成十六年、ベストセラーズ。〕

容概要 適合ひを樂しむための、女性向け手引き書。再読

240823 藍川京著『紅鬚日記』

讀了日 平成二十四年八月二十二日

出版 平成十四年、株式會社日本出版社、アップルノベルズ。

内容概要 ポルノ小説、副題「人妻千亞紀」。勤務先の倒産で職を失つた夫の再就職を知人に依頼したところ……。

その他 再讀(15-08-23) (290129)

241117 コレットダウリング著 木村治美譯『シンデレラコンプレックス』

讀了日 平成二十四年十一月十七日

出版 昭和五十七年、株式會社三笠書房。

内容概要 自分で責任を持つて、自分の未來を切り開かつとはしない。すべては、自分で自分を前に押しやる事が大事だといふ。

平成二十五年

251228 久家巧著『トルコ生態學』

讀了日 平成二十五年十二月二十八日

出版 昭和五十九年、株式會社三一書房。

副題

内容概要 性慾を扱ふ遊び場であるトルコ風呂が他の性慾産業とは異なり、安定的な存在となつてゐることについて、昔の赤線との違ひ、技術の進展、マスコミや警察との関係など多方面から分析してゐる。さらに、トルコ風呂の經營者、トルコ嬢、ひも、暴力團など關係者の實態なども紹介してゐる。

平成二十六年

260110 太田経子『夜のフォーカス』

讀了日 平成二十六年一月十日、金曜日

出版 昭和五十九年、實業之日本社

副題 「長編官能小説」と肩書きがあるが、穏やかな内容。

内容概要 主人公貴志亮太は獨立寫眞家でお祭りの撮影を専門としてゐる。仕事関係の出版社編輯者、飲み屋の女性などと性交渉を持つてゐる。若い女性寫眞家野瀬直美に付きまとわれるが、偶然、その女性の實の母である舞台女優、香村蓉子を知り、性交渉を重ねる。野瀬直美は亮太と初體驗をするが、亮太と蓉子の仲を知り、妨害をし、亮太は二人との性交渉關係の破局を迎へる。

260115、小林照幸『熟年性革命報告』

讀了日 平成二十六年一月十五日、水曜日

出版 平成十二年、株式會社文藝春秋、文春新書

副題 なし

内容概要 老人ホームや介護施設での現實を基礎に、老齡者の性に對する從來の常識の遲れを指摘し、「よりよい生き方」を實現するための老齡者の性生活を問題提起してゐる。著者ほか こばやしてるゆき

260406、酒井あゆみ著『ラブレスセックス』

讀了日 平成二十六年四月六日、日曜日

出版 平成二十四年、株式會社新潮社

副題

内容概要 性慾を對象とした職業女性について、最近の傾向を示す事例を紹介してゐる。章立ての表現は異なるが、援助交際の中學生、親子での風俗嬢、女子高生賣春、高齡風俗嬢、処女で吉原へ、逆転派出所の女、出合部屋クラブの人妻、ホスト幹部と女子高生、外務省受付嬢から愛人バンク、個人撮影、個人營業賣春、際物動畫出演、賣れない風俗嬢など。

派遣會社から外務省の受付嬢に行つてゐた時に、高級官僚に高級料亭に誘われて、二十萬圓貰ひ性交渉したとの話。ほかの章とは異質で唐突な感じがするが、興味深い。著者 さかいあゆみ。福島縣生まれ。いはゆる風俗營業の幾つかを経験して文筆業。

260412、オリビア・セント・クレア著、深井みこ譯『ジョアンナの愛し方』

讀了日 平成二十六年四月十一日、土曜日

出版 平成九年、株式會社飛鳥新社

副題 男性があなたに夢中になる203の方法

内容概要 女性自身にとつて素晴らしい性交をするための考へ方と具體的な手法を解説。ジョアンナは、著者の知人だつたといふ、ごく普通に見える女の子でありながら、男性にもてる適合ひ上手の理想的な存在で、その人の手法を紹介するとしてゐる。まづ相手を悦ばせることが大切で、自分は他人とは同じでなく、かけがへ無い存在であり、相手も同じくかけがへのない存在であるとす。自分の身體を良く知り、必要な訓練を行ふこと。

オルガスムの振りをしないことなど。日常の生活の仕方にも通じる内容。原著『203 Ways to drive him wild in bed』
著者 Olivia St. Claire千九百六十二年、ニューヨーク生まれ、雑誌編輯者。譯者 深井みこは、昭和四十一年生まれ、上智大學卒業して、通譯、翻譯業。
その他

260412 オリビア・セント・クレア著 深井みこ譯『シヨアンナの愛し方 Part 』
讀了日 平成二十六年四月十二日、土曜日
出版 平成七年、株式會社飛鳥新社

副題 男性があなたに夢中になる176の方法

内容概要 『シヨアンナの愛し方』の續編 魅力的な女性になるための獨樂の仕方について、考へ方と具體的な手法を解説。原著『The Art of Self-Pleasuring』

著者 Olivia St. Claire千九百六十二年、ニューヨーク生まれ、雑誌編輯者。譯者

深井みこは、昭和四十一年生まれ、上智大學卒業して、通譯、翻譯業。

その他 再讀(16-07-22)。

260725 シェア・ハイト著 ハーディング祥子、青山陽子共譯『ハイト・リポート新家族論 上』
讀了日 平成二十六年七月二十五日、金曜日

出版 昭和七年、株式會社同朋舎出版

副題 無し

内容概要 記述式調査により、娘が受けた母や父からの性的な關係についてのまとめ。下巻は息子への調査結果。上巻全體を通して、從來の、或いは現在の家庭の中での娘の性的な關係を否定して、傳統や習慣をなくした、蒸溜水のやつな感覺の女性を理想としてゐるやうだ。

「なぜ、家族はけんかするのでしょう? 家庭における最大の問題は、皮肉にも、性別ののです。両親が平等でないせいで、多くの子どもたちにとって不安定な状態が生まれます。新聞や雑誌などに「離婚率が上がっている」という記事がしばしば登場し、家族の崩壊などとしてステリックな警告が書かれています。

この崩壊は、じつのところ家族の民主化と多様化の過程であり、万人の利益となるものなのですが、その隠された原因は、男性と女性の間で昔からかわされてきた、いわば「感情に関する契約」のようなものにほかならないのです(第五章参照)。(第309ページ)
著者 シェア・ハイト 昭和十八年生まれ、フロリダ大學で、アメリカ史を、コロンビア大學で思想史を學ぶ。女性解放運動に係はり、ハイトレポートでベストセラー。
その他

261110 亀山早苗著『婚外恋愛』

讀了日 平成二十六年十一月十日、月曜日。粗讀

出版 平成二十六年、株式會社カドカワ、メディアファクトリー新書

副題

内容概要 不倫といふ言葉に代り、「婚外恋愛」といふ言ひ方が出てきた。これは、既婚者同士の夫婦以外の戀愛が増えたことを反映してゐるとして、その實態を報告してゐる。

著者 かめやまさなえ。昭和三十五年、東京生まれ。明治大學文學部卒業。『不倫の恋で苦しむ男たち』、『夫の不倫で苦しむ妻たち』、『不倫の恋の決斷』、『妻と恋人』、『渴望』、『オンナを降りない女たち オトコを降りる男たち』、『乾いた夜』、『愛より甘く、せつなく』、『救つ男たち』東京消防庁の精鋭、『クマモン力 人を惹きつける愛と魅力の秘密』など。

その他

270805 氏家幹人著『江戸の性風俗』

讀了日 平成二十七年八月五日、水曜日。

出版 平成二十年、株式會社講談社、講談社現代新書

副題 笑いと情死の工口入

内容概要 幕末の名奉行川路聖謨の奈良奉行時代の日記を基に、江戸時代の性に關する感覺を紹介。非常に真面目な武家の家のなかで、性に關する話題がおおらかに話されてゐたことを紹介してゐる。公家の場合も同様におおらかであり、春畫も贈り物として重寶されてゐた。性行為についても、現代のやつな隱微な扱ひは無い。さらに、男色と武士の感覺「肌を許す」とか、「不倫」とか、「痴漢」など、現代の意味と、本来の意味を紹介。

著者 うじいえみきと。昭和二十九年、福島懸生まれ。東京教育大學文學部卒業。日本近

世史專攻。

その他

271213 中野榮三著『遊女の知恵』

讀了日 平成二十七年十二月十三日、日曜日。

出版 平成五年、株式會社雄山閣。

副題 江戸時代選書五

内容概要 遊女、廓、岡場所などに關する基礎知識 参考文献も詳しく紹介されてゐる。

著者 なかのえいぞつ。

その他

平成二十八年

280503、和田好子著『やまとなでしこの性愛中』

讀了日 平成二十八年五月三日、火曜日。

出版 平成二十六年、株式會社ミネルヴァ書房

副題 古代から近代へ

内容概要 我が國古來の結婚し江戸は多夫多妻とも言ふべき制度で、男女共に自由な性生活、家庭生活を送つてきた。徳川時代の武家制度の中で、武家の一夫一婦制度が建前となつたが、實際は離婚や再婚は盛んで、村の中では集團交際、男女共に性交相手を複数を経験したうえで適切な相手を選んで夫婦となるやり方ができあがつてゐた。明治以降は、西歐のキリスト教世界の影響で、傳統を無視した觀念的な家族制度が法定されて、自由戀愛の掛け聲のもとで弱肉強食の性生活社會ができあがつてゐる。

第一章 神と人とに交わる女・記紀の時代

第二章 多妻制度を生きたる女たち・平安時代

第三章 自由戀愛から姦通嚴罰化の時代へ・鎌倉室町時代

第四章 戀愛禁制下の大奥と吉原・江戸時代

第五章 産業革命と生活の變革・明治時代

後記として 過去を振り返り、未來を展望すれば

著者 わだよしこ。昭和四年、東京生まれ。神奈川高等女學校、卒業。速記者を経て昭和三十三年、結婚し一児を生む。昭和五十年、投稿雜誌『わいふ』を發刊し、三十年間、副編集長。

その他

280505、氏家幹人著『江戸人の性』

讀了日 平成二十八年五月五日、木曜日。

出版 平成二十五年、株式會社草思社、草思社文庫。

副題

内容概要 江戸時代の性に關する話題を紹介。春畫に幼児が登場することから、乳母による性的な感覺の體驗など、美少年や性轉換の話題、暮らしの中に猥談や春畫が普通に登場してゐたこと、人妻の性感覺、洗濯による女性からの誘ひ、男の操、仙臺藩主の寵臣、老人の性など、興味深い話が多い。

講談社版『江戸の性談』の改題修正。

著者 うじいえみきと。昭和二十九年、福島縣生まれ。東京教育大學文學部、卒業。
その他

280526、石崎芳男著『元吉原考』

讀了日 平成二十八年五月二十六日、木曜日

出版 平成六年、株式會社近代文藝社。

副題 もとよしわらこつ

内容概要 現在の日本橋人形町の地あつた吉原遊郭について、成立から新吉原への移轉の

様子までを種々の参考文献を紹介しながら解説。遊女に關係する言葉の解説も判りやすい。
著者 いしざきよしお。
その他

281003、菜摘ひかる著『風俗嬢菜摘ひかるの性的冒険』

讀了日、平成二十八年十月三日、月曜日。

出版、平成十年、株式會社洋泉社。

副題

内容概要、性を賣る風俗嬢として體驗した様々な職業を紹介し、男性を性的に悦ばせることが自分の天職であるとしてゐる。

著者、なつみひかる。昭和四十八年生まれ、平成十四年、没。

その他、再讀(18-06-01)

平成二十九年

290129、藍川京著『紅蕊日記・人妻千亜紀』

讀了日、平成二十九年一月二十九日、日曜日。

出版、平成十四年、株式會社日本出版社、アッブルノベルズ。

副題、官能ロマン

内容概要、若妻千亜紀は夫の真人の勤務先の大手銀行が倒産したので、かつて學生時代に銀座のクラブでアルバイトをし、その時に知り合つた大手損保會社の役員をしてゐた佐久間徳次郎に連絡を取り、夫の再就職先を依頼する。佐久間は千亜紀に憧れてゐたが身持ちが堅いので、欲望を果たせなかつたのが、今、相手から飛び込んだので、真人の就職を約束し、その代り、千亜紀に性交渉の約束をさせた。真人は自暴自棄になり、千亜紀には荒々しい性交しがないが、佐久間は優しく接して、千亜紀の性感を開發してゆく。佐久間に命じられて、佐久間の若妻、美和が講師を勤める生け花教室に通ふことになるが、直ぐに美和に見込まれて、自宅へ連れ込まれ同性愛に追ひ込まれて行く。

その同性愛の様子は佐久間が隠しビデオで撮影されてゐる。また千亜紀は佐久間や美和とのことを日記に記すことで理性を保とうとしてゐたが、真人に觀られてしまふ。それを知つた佐久間は真人の新しい就職先の元役員として、真人に會ひ、雙方の妻の同性愛を認めるつへに家族同士の付き合いをせうと提案し、真人は將來を約束されたものとして同意する。そして、佐久間お別荘に千亜紀と真人が招待された時、美和は真人を連れだして性交渉をして、これからも續けるとの秘密契約を結ぶ。一方、別荘に残された佐久間は千亜紀に肛門性交を行ひ、更に今後の性域開發の夢を膨らませてゆく。千亜紀は一貫して新たな性の冒険を拒み續けながらも、身體はそれを求めて感じやすくなつて行

く。

著者 あいかわきよつ。熊本縣出身。福岡女子高校卒業。

その他 再讀 (15-08-23) (24-08-23)

290625、富島健夫著『背徳者たち』

讀了日 平成二十九年六月二十五日、日曜日

出版 昭和五十六年、實業之日本社、富島健夫小説選集。

副題 扉には「陶酔のロマン」と肩書きがあり、奥付には「背徳者たち 他短編」とある。

内容概要 七作品を収録してある。「背徳者たち」と「それぞれの欲望」は獨立した設定だが、「紅梅白梅」以降、「とりかへばや」、「妬心」、「心栄え」、「女の不安」は、大學生の性愛物語で、女子アパート白梅荘が中心舞臺となつてゐる。登場人物は、連續してゐる者としてゐない者がある。「背徳者たち」以外は性愛小説としては面白みが少ない。

「背徳者たち」 會社員の大里は大學生の久美と結婚を前提に交際してゐて、久美は大里のアパートへ屢々泊り込み、適合ひを重ねてゐる。久美の十歳上の叔母、雅子は、市役所職員の子、今川との間に子が無く、妊娠を望んでゐて、「一度、妊娠して流産させれば夫の子を孕み易くなる」と信じて、久美に相談する。大里はその爲に久美との適合ひに雅子を参加させて、雅子の中へ射精する。その後、雅子は夫と連日、適合ひ、妊娠したが、それが誰の子か判らないが、當初の計畫と異なり、生むと決める。大里、久美、雅子の三人は三人適合ひの喜びを知り、大里と久美は適合ひ中に雅子に電話して、雅子と共に楽しむ。雅子はまじめな夫に浮氣をさせようと、夫の東京出張を機會に、久美に誘惑させようとするが、久美は最後のところで實現せず、大里は結婚を控えた女友達、弘子に今川を紹介する。後で弘子から、二人の適合ひは上出来で、雙方大満足で、今後も続けるとの報告。かくて、五人いつたりすべて、万々歳の結果となつた。

後味の良い、楽しい物語

「それぞれの欲望」 別府湯布院の資産家の娘、芳子は、東京で獨り、保育園の保母をしながら生娘のまままで自活してゐる。兄弟は皆、両親も兄弟も見合い結婚で、自分の好みよりも打算や資産を優先しての結婚である。勤め先の園児の親に資産家がゐて、園児同士の諍いに親の我を通さうとするが、園児同士が仲直りしてゆくのに、親は我を通し続ける。芳子の元の交際相手、矢吹が警察に追はれながらも芳子の元に忍び込み、適合ひを迫るが、辛くも逃れて、アパートを出て姉の家に泊めて貰ふ。矢吹は芳子の部屋窓から出た所を捕まる。芳子は湯布院で見合した醫師から求婚され、心は結婚へと傾いて行く。湯布院での高校同級生の適合ひ體驗披露など、適合作家の作品としての挿話はあるが、主題は保育園児の心の成長と大人の世界の變はらなさを描いてゐる。

「紅梅白梅」

大學生の信二は、紀子に抱いてと頼まれ、女子アパートの紀子の部屋で適合ひ。紀子は絶妙な技で信二と適合ひが、「忘れて」と頼まれる。同じアパートの艶子からも、「忘れてあげて」と頼まれる。艶子から部屋へ呼ばれ手作りの御馳走を戴く。紀子は失戀のあと、何人かの男子と一度きりの適合ひをしいてゐるといふ。ある日

紀子が男に付き纏はれてゐたのを、「紀子の戀ひ人だ」と言ひ、助ける。紀子は艶子が信二を慕つてゐると言ひ、艶子は紀子が慕つてゐると教へる。信二は二人を自室へ呼んで話し合ふ。二人を送り出した後、二人に誘はれるが、信二は何れとも決めずに二人のアパートへ向かう。

「とりかへばや」 京太は同じ學生仲間の久夫から二つの事を依頼された。一つは久夫の同棲相手の初子が卒業して故郷へ歸るので、初子に久夫以外の男との適合を經驗させたいので、京太に頼みたい。もう一つは、初子の後釜に、京太の高校同級の美千代を世話してくれといふ。京太はそれに乗り、美千代に話を持つて行く。美千代の女子アパートの同僚、紀子は、美千代の好きなのは京太だといふ。京太は久夫に同意して、初子と適合ぶが、美千代と紀子は、久夫の來るのを避けて、京太を誘ひ出す。我が儘男の蟲の良い提案が破綻するといふ話で、上出来とは言へない。

「妬心」 祐子から戀人の浮氣で關係を斷つために適合ひを求められた一郎は、それに應じて祐子の求めに應じるが、その結果、祐子と同棲することになった。そこへ一郎と付き合つてゐる人妻が現れ、人妻との關係が終了する。上出来とは言へない作品。「心栄え」 醜女の知子に惹かれた男の話。上品な振舞ひや心に惹かれて同棲へ。「女の不安」 姓への不安から女たらしの男に処女を捨てたいといふ女友達に向かう男の話。

著者 とみしまたけお。昭和六年、朝鮮京城生まれ。昭和三十年、早稲田大學佛文科卒業。河出書房勤務。平成十年逝去。

その他 再讀(15-06-15)

290627、高島健夫著『花の秘密』

讀了日 平成二十九年六月二十七日、火曜日

出版 平成七年、株式會社双葉社、双葉文庫

副題

内容概要 中學一年生の鈴子は新婚の叔母三重子の家に泊まり、夜中に夫婦の適合ひを垣間見た。その後、友達の經驗談などから性への關心とあこがれがはぐくまれ、三重子夫妻からも手ほどきを受けるが、高校一年生の夏、遠縁の山口に身體を許してしまふ。それを三重子夫妻に告げると、夫妻は、鈴子に本當の喜びを教へるために、山口とは一度と付合はぬことを教へ、鈴子に適合ひを教へる。月に二度ほどの泊まり込みで鈴子は適合ひを教へられるが、本當の絶頂には至らない。友人宅の通夜で三重子が家を空ける夜、三重子は鈴子を泊りに呼びに来て、鈴子は三重子の夫と一人のみで適合ひをし、絶頂に至る確かな確信を得る。若い女性に對する適合ひ教育を詳しく描いてゐる。

著者 とみしまたけお。昭和六年、朝鮮京城生まれ。昭和三十年、早稲田大學佛文科卒業。河出書房勤務。平成十年逝去。

その他 再讀(11-05-15)

讀了日 平成二十九年六月二十九日、木曜日

出版 平成十一年、河出書房新社、河出文庫

副題 セックスメート氏聞き書き

内容概要 スワッピング歴が三十数年のセックスメート氏の體驗による性愛の仕方を紹介してゐる。男性は女性を究極まで楽しませることに、本當の樂しみがある。前技は挿入の爲の準備行爲ではなく、本番の一分である。勝れた性感覺を有する大阪の女醫を例にあげてゐる。

著者 しもかわこうじ。昭和十七年生まれ。風俗史家。再讀。

290708、風俗資料研究會編『綾子の秘密』

讀了日 平成二十九年七月八日、土曜日

出版 出版年不明、富士出版

副題 秘本名作全集第一卷

内容概要 「もしほ草」と「エロエロ交響樂」を収録の復刻版。

著者 不明。「巻頭辭」には「東知己生」とある。

その他 三巻が一つになつてゐて、定價が付いてゐる。

290710、風俗資料研究會編『少年と戀』

讀了日 平成二十九年七月十日、月曜日

出版 出版年不明、富士出版

副題 秘本名作全集第二卷

内容概要 「少年と戀」と「花の歡び」を収録の復刻版。

著者 不明。

その他 三巻が一つになつてゐて、定價が付いてゐる。

290712、風俗資料研究會編『享樂秘事技巧術』

讀了日 平成二十九年七月十二日、水曜日

出版 出版年不明、富士出版

副題 秘本名作全集第三卷

内容概要 「恐怖の橋」、「肉體のたわむれ」、「女淫抄」、および「享樂秘事技巧術」を収録の復刻版。目次には、最初と最後の作品名のみ、

著者 不明。

その他 「秘本名作全集 全三巻」として紙筒に容れ、消費税三パーセントの定價五千八百圓を付けてゐる。今回、讀み捨てにしているために目を通した。どの作品も、取り立てて言ふべきものではない。

291102、澁谷申博著『封印された聖なる性の秘密』

讀了日 平成二十九年十一月一日、木曜日

出版 平成十年、株式會社日本文芸社。

副題

内容概要 我が國古來の宗教、思考法の中に存在する性の感覺は人類共通の聖なるものであり、現在でも生活や考へ方の深いところで重要な役割を果たしてゐる。聖と性の二つの概念が深く結びついてゐることを紹介。

著者 しげやのぶひろ。昭和三十年、東京生まれ。早稲田大學第一文學部哲學科卒業。
その他 再讀(23-04-07)

平成三十年

平成三十一年

1010521、岡田甫著『川柳愛慾史』

讀了日 令和元年五月二十一日、火曜日

出版 昭和二十七年、あまとりあ社

副題

内容概要 我が國の歴史上の事柄に關聯した愛慾面での川柳を事件毎に集めて解説をしてゐる。最後に、川柳の題材となるのは、江戸時代に流行した謡曲が中心であり、謡曲になつてゐない歴史上の事件は川柳になつてゐないと解説してゐる。

著者

その他 再讀(13-07-11)

この網上葉の履歴

令和元年八月朔日、掲載。

編輯

有限會社與野書房

2019